

# 皮 膚 科

## 1. 基本研修体制

- 1) 2年間の研修期間のうち、前半の1年間のうち最大2.5ヶ月間および後半1年間のうち最大11ヶ月間を皮膚科研修に充て、各種皮膚科疾患の理解、診断法、検査法の基本的なものを学び、最低限度の初期診療能力を身につける。
- 2) はじめの1年間は内科、救急麻酔など厚生労働省案にのっとった研修に充てる。

## 2. 研修目標

- 1) 皮膚科は、皮膚に病変がある疾患全てを扱う「眼でみる」総合臨床医学です。  
検査、データ重視の現代医学にあつて、100の検査データ、100の臨床情報よりもたった一人の優れた皮膚科医の眼が誰よりも速く、正確に診断してしまうこともあります。  
上記のような審美眼ともいえる臨床能力をつける上に、皮膚科医は皮膚病理の専門家でもあり、最先端の免疫染色、免疫電顕、遺伝子技術をあつかう、皮膚という最大の臓器の科学者でもあります。  
診断、治療技術を含めた臨床医としても、科学者としても、世界最先端の臨床専門医になることが 当科の基本姿勢です。
- 2) 熱傷や皮膚潰瘍、皮膚腫瘍に対しては、植皮術、皮弁形成術などの外科技術も修得し、全国どの施設よりも役にたつ皮膚科専門医を養成します。
- 3) 重症薬疹、水疱症などの重症皮膚疾患の治療を通して、臨床医に必要な全身管理の技術、能力を修得します。
- 4) 皮膚症状のある膠原病に関しては、いち早く診断、治療につなげる技能を修得します。
- 5) 常に最新の医学情報を取り入れ、データに裏付けられた科学的思考を身につけ、インパクトファクターの高い国際誌に発表できる能力、基本姿勢を養成します。

## 研修スケジュール

選択研修は旭川医科大学皮膚科での研修および大学外の研修病院皮膚科での研修を合わせて最大13.5ヵ月となる。

#### 4. 短期研修用プログラム

当科での短期研修（最短2週間）を希望する者に対しては、その要望に応じて、一般皮膚科、皮膚外科、皮膚悪性腫瘍、皮膚病理学のいずれかの領域について研修を行う短期研修プログラムを適用する。基本的には長期研修者と同様であるが、到達目標をせばめて少しでも実りある研修ができるように配慮する。

当科ではグループ別診療体制をとっており、皮膚病理学の専門家もいるので、そのいずれかのグループに所属し、前記研修目標に挙げられた当該領域に関連する項目の中から短期到達目標を設定し、各グループの指導者のもとでその到達を目指す。

#### 5. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	
午前	病棟回診 1週間の治療計画 など	病棟回診 生検など検査	病棟回診	病棟回診 カンファレンス 準備	病棟回診 入院患者手術	
午後	病棟回診 各診療グループ カンファレンス	病棟回診 各診療グループ カンファレンス	病棟回診 総回診準備	病棟回診 総回診 皮膚病理組織学 及び 臨床スライドカン ファレンス	病棟回診 外来患者手術 術後回診	
外来	午前	新患外来 再来外来	新患外来 再来外来	新患外来 再来外来	新患外来 再来外来	再来外来
	午後	皮膚悪性腫瘍 専門外来	アトピー性皮膚炎 専門外来 水疱症角化症専門 外来	乾癬専門外来 膠原病外来		

各種学会、講演会があり、研修医は年最低2回の発表が促される。

皮膚科指導責任者 山本 明美 准教授

本間 大 講師

指導教員数計： 9名

皮膚科についての質問は e-mail：[akemi@asahikawa-med.ac.jp](mailto:akemi@asahikawa-med.ac.jp)

または TEL：0166-68-2523、FAX：0166-68-2529 山本 明美まで